

内村鑑三 近代日本キリスト教界を思想的にリードして、神学的傑作と無教会主義を生み、多くの人材を育てた。

うちむらかんぞう

遣欧使節・1861 = 高崎藩士内村宜之の長男として江戸に生まれた。

一時高崎引き揚げ、

石巻・気仙沼に転居などを経験したのち、

明治維新・1868 = 7歳：

初の日刊新聞1870 = **9歳**：

上京し、

明治6年政変 1873 = 12歳：有馬英学校その他に学んだのち、

西南戦争・1877 = 16歳：**札幌農学校(現、北海道大学)2期生となり、**

大久保暗殺・1878 = 17歳：**W.S.クラークの感化を受けてキリスト教に入信。**

琉球処分・1879 = **18歳**：

明治14年政変1881 = 20歳：首席で卒業後、水産研究に従事したが、

秩父事件・1884 = 23歳：**結婚に破れて渡米し、アマースト大学に学んだ。**

その学業は今日の一般教養程度のものであったが、

帝国大学始・1886 = 25歳：**総長のJ.H.シーリーの感化の下に、回心を体験したことが以後の活動を決定づける。**

初の対等条約1888 = **27歳**：アマースト大学卒業の後、ハートフォード神学校を中退して帰国。

帝国憲法発布1889 = 28歳：東洋英和学校・東京水産伝習所で教える。**結婚。**

帝国議会始・1890 = 29歳：第一高等中学校(旧制一高)嘱託教員となる。

足尾銅毒始・1891 = 30歳：**教育勅語に敬礼を拒んで不敬事件として騒がれ、さらに妻を亡い、絶望的な苦しみを味わいながら、**

郡司千島探検1893 = 32歳：**「基督信徒の慰め」「求安録」「代表的日本人」などの名著を生む。**

日清戦争始・1894 = 33歳：「地理学考(地人論)」出版。

日清戦争終・1895 = 34歳：**誕生から回心までの自伝「余は如何にして基督信徒となりし乎How I Became A Christian」。**

八幡製鉄始・1897 = **36歳**：

子規句歌革新1898 = 37歳：{東京独立雑誌}を創刊し、

{万朝報}でも社会評論に健筆をふるい、足尾銅山鉱毒事件にかかわり、

{東京独立雑誌}を廃刊して、{聖書之研究}を創刊。

田中正造直訴1901 = 40歳：**雑誌{無教会}を発刊したり、黒岩涙香、堺利彦、幸徳秋水らと理想団を結成したりする。**

教科書疑獄・1902 = 41歳：**自宅で角筭聖書研究会を開く(会員は25人に限る。小山内薫・大賀一郎・志賀直哉ら参加)。**

日比谷公園・1903 = 42歳：**日露開戦に際しては非戦論を貫くなど、目ざましく活躍。{万朝報}の社論が日露開戦に傾いたので、幸徳・堺と同時に退社。**

日露戦争終・1905 = 44歳：

満鉄発足・1906 = **45歳**：

以後没するまで、{聖書之研究}に拠って次々と反戦的意見を発表し、伝道を著しく前進させる。

アライ 創刊・1908 = 47歳：内村鑑三のもとに第一高等学校の読書会の一団が入門。

明治天皇没・1912 = 51歳：

21ヶ条要求・1915 = **54歳**：

大正11年条約・1919 = 58歳：第1次大戦終結前に始めた再臨運動は1年半で幕を閉じたが、これは内村の信仰を決めただけでなく、弁証法神学の台頭とならんで20世紀キリスト教のあり方を表したものと見てよい。

原敬首相暗殺1921 = 60歳：

晩年は聖書講義に集中して、

護憲三派圧勝1924 = **63歳**：**「羅馬書の研究」のような神学的傑作を生み、**

また塚本虎二、黒崎幸吉、藤井武、矢内原忠雄、三谷隆正、前田多門、南原繁ら多数の人物を育てた。

円本時代始・1926 = 65歳：「The Japan Christian Intelligencer」を創刊。

海軍軍縮条約1930 = 69歳：前年来の心臓疾患により、**没した。**

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、中公シリーズ「日本の名著」、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、